


## 令和 6 年度 S S H 授業研究会について（二次案内）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本校は、平成 18 年より S S H 研究指定を受け、女子の理系支援を促すためのカリキュラム研究、各種の研修や課題研究などさまざまな事業に取り組んで参りました。一昨年より第 4 期の指定を受け、さらに生徒の主体性を育み、深い学びへと導く手法について研究を進めております。このたび S S H 事業として、課題解決に繋げるための 3 つの思考法に基づいた授業について研究授業を行うとともに、本校の高校 2 年生が行っている研究活動の様子を公開いたします。つきましては、校務ご多用のこととは存じますが、多数の皆様にご参加いただき、ご指導・ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

### 記

1. 日時 令和 6 年 11 月 19 日（火）12:50 ～ 16:40
  2. 場所 ノートルダム清心学園 清心中学校 清心女子高等学校
  3. 時程 12:20～12:50 受付 記念館 1 階  
12:50～13:10 全体会（記念館 2 階会議室）  
13:10～13:55 5 限 研究授業①  
14:05～14:50 6 限 研究授業② ※裏面をご覧ください。  
15:00～15:50 講演会  
講師：㈱ベネッセコーポレーション エリア事業推進本部 中四国支社  
学校事業責任者 劉耕助 氏  
16:00～16:30 研究協議  
16:30～16:40 閉会行事
  4. 参加形式 来校（交通費自己負担）もしくはオンライン（zoom）※講演会のみ  
注）オンラインで参加の場合、研究授業及び研究協議には参加できません。
  5. 申込み 右の QR コードから必要事項を入力してください  
参加申込書に必要事項を記入し、FAX で送信する、または同内容を下記のメールにお送り下さい。本校 SSH ホームページ (<https://www.nd-seishin-ssh.com/>) の入力フォームからの受付も行っております。  

- 申込〆切：11 月 15 日（金）

6. 連絡先 清心中学校 清心女子高等学校 Tel：086-462-1661 Fax：086-463-0223  
E-mail：tanaka-fu@nd-seishin.ac.jp（担当 田中）

本校第 4 期 SSH における SSH 研究授業のテーマは「課題解決に繋げるための、論理的思考（ロジカルシンキング）・批判的思考（クリティカルシンキング）・水平思考（ラテラルシンキング）を意識した授業展開」としてしています。これら 3 つの思考法を授業の中で組み合わせ、多様な発想の下で多面的な見方ができる力の育成を目指しており、その授業研究の成果を公開致します。このような授業改善と、さらには高大連携実習や課題研究の実施、科学系クラブ活動の充実と合わせて、次世代を担う科学技術系女性人材の育成を目指しています。さらに講演会においては、㈱ベネッセコーポレーションの劉耕助氏をお招きして、「探究活動と進路実現」をテーマにお話ししていただきます。

## 【各教科の公開授業概要】

### <研究授業①>

#### ●論理国語（高3） 担当：川崎俊 「論理的（に）文章を読解する」

概要：論理的な文章読解とは、固有の文章における固有の論理の発見に他ならない。具体的な題材を用いてその方法を確認し、かつ、生徒に発展的発想を促すことを目指します。

#### ●実践英語（SSH 学校設定科目・高3） 担当：ティムス・ブライアン 「テクノロジーに対する意見」

概要：During this term students have been considering the role of technology in our society, and our ambivalence toward technological change. Recent technological advances have polarized narratives of technology, and especially artificial intelligence, into dystopian and utopian camps. In this lesson students will share their analysis of data they have collected regarding attitudes towards AI using the concepts of causation and correlation.

今学期中、生徒たちは、社会における技術の役割や、技術の変化に対する私たちの複雑な感情について考えてきました。最近の技術、特に人工知能（AI）の進歩は、技術に対する見方を悲観的なものか明るく希望に満ちたものかに分断しています。この授業では、生徒たちが集めた AI に対する意見のデータを、因果関係と相関関係の考え方を使って分析し、その結果を発表します。

#### ●物理基礎（高1） 担当：小野靖子 「熱エネルギーの移動について思考する」

概要：問題演習で取り扱うような熱量の保存が成り立つかについて実験を通して確かめます。①理論的に求められる熱平衡に達したときの温度と実験で測定した温度の差、②素材の違う容器による熱平衡時の温度について思考法を用いて考察します。

#### ●地理総合（高2） 担当：松本浩和 「資源・エネルギー問題について考える」

概要：現在、再生可能エネルギーの活用が進みつつあるが、各国の事情によりその利用状況は異なっています。「持続可能な社会」の実現に向けて、限られた資源・エネルギーをどう利用すればよいかを発電の面から考えていきます。

#### ●SS 課題研究基礎（SSH 学校設定科目・高1） 担当：橋岡源九郎、太田菜津子

##### 「防げ！消滅都市～持続可能な町から学ぶ町作り～」

概要：既習の3つの思考法（ロジカル・クリティカル・ラテラル）を活用し、データや成功事例をもとに、チームで「消滅都市化」を防ぐ方法を考えます。

#### ●データサイエンス入門（SSH 学校設定科目・高2） 担当：坂部高平

##### 「見かけの相関の強さにだまされない」

概要：相関関係と因果関係は異なるものを示すことを理解しつつ、相関関係の強いデータの中から疑似相関である可能性を見つけ出し、第3の変数（交絡因子）が何であるかを考えます。

### <研究授業②> ※高2 生徒全員が「SS 課題研究」もしくは「発展探究」で活動を行います。

#### ●SS 課題研究（SSH 学校設定科目・高2） 「自然科学に関わる研究活動」

概要：主に自然科学のテーマについての研究活動を行います。この時間は理科室すべてを開放し、生徒が自分で定めたテーマに基づいて各々研究活動を実施しています。先行研究調査をしている生徒もいれば、実験をしている生徒もおり、画一的な進め方は行っていないのが特徴で、普段の課題研究指導の様子を公開いたします。指導する教員は理科の教員など、計6名です。

#### ●発展探究（総合的な探究の時間・高2） 「社会科学に関わる研究活動」

概要：主に社会科学のテーマについての研究活動を行います。本校では社会科学の中でも「地域課題研究」「グローバル課題研究」「女性課題研究」「医療福祉課題研究」と4つの講座に分けており、それに応じて活動場所も分けています。各講座内でさらにどのようなテーマ設定とするかは生徒自身に委ねており、それぞれが興味関心に応じたテーマで研究活動を実施しています。指導する教員は高校2年の学年団など、計9名です。

## 【講演会について】

○講師：(株)ベネッセコーポレーション エリア事業推進本部

中四国支社 学校事業責任者 劉耕助 氏

○題名：「探究」の実践と進路とのつながりについて

○講師紹介：劉耕助（りゅうこうすけ）



劉耕助氏は、(株)ベネッセコーポレーションにて中四国エリアの学校事業を統括する責任者を務めており、教育現場の変革に貢献するための幅広い取り組みをリードしている。地域の学校と密に連携し、生徒の学びをサポートするプロジェクトや教育環境の改善に向けたソリューションを提供することで、教育の質向上に寄与している。

これまでに多数の講演を行っており、教育現場におけるICT活用の推進や、探究学習の導入支援に関するテーマで各地の学校や教育関係者向けに講演を行ってきた。特に

「新しい学びの形と教育ICTの未来」「個別最適な学びと

協働的な学びの実現」といったテーマは多くの教育現場から注目を集めている。また、教育改革の最前線で培った知見を元に、学校の指導者や教員向けの研修も行い、現場で実践できる具体的なアプローチを提案している。

劉氏は、学校教育における生徒主体の学びを推進するためのアプローチに精通しており、その豊富な経験と知識を活かして、現代の教育が直面する課題に取り組んでいます。彼の講演は、理論に基づいた実践的な内容と、現場での成功事例を織り交ぜた分かりやすい説明が特徴で、多くの教員や教育関係者に好評を得ている。

## 【本校へのアクセス】

- ・倉敷インターチェンジから岡山方面に10～15分（校内に駐車スペースがございます）
- ・JR中庄駅からタクシーで10分



[別紙様式]

ノートルダム清心学園清心中学校・清心女子高等学校

令和6年度SSH授業研究会 参加申込書

学校 (所属)	学校名： (所属名)
	TEL：

職名	参加者名	教科	研究授業(参観希望に○をお付けください) ※複数回答可
	代表者 E-mail ( )		(研究授業①) 論理国語 ・ 地理総合 ・ 物理基礎 実践英語 ・ SS 課題研究基礎 (研究授業②) SS 課題研究 ・ 発展探究
			(研究授業①) 論理国語 ・ 地理総合 ・ 物理基礎 実践英語 ・ SS 課題研究基礎 (研究授業②) SS 課題研究 ・ 発展探究
			(研究授業①) 論理国語 ・ 地理総合 ・ 物理基礎 実践英語 ・ SS 課題研究基礎 (研究授業②) SS 課題研究 ・ 発展探究
			(研究授業①) 論理国語 ・ 地理総合 ・ 物理基礎 実践英語 ・ SS 課題研究基礎 (研究授業②) SS 課題研究 ・ 発展探究



11月15日(金)までにQRコード、FaxまたはE-mailでお申し込み下さい。

Fax : 086-463-0223

E-mail : tanaka-fu@nd-seishin.ac.jp